



国連創設70周年
2015国連デー記念シンポジウム
日本と国連

KYOTO —京都から世界平和を願って—

10月24日は国連の発足を祝う国際的な記念日「国連デー」。今年は国連が生まれて70年、来年は日本が国連に加盟してから60年という節目の年です。世界の平和と安定を確保するために国連の果たす役割がこれまで以上に重要視されている中、国連創設70周年および10月24日の国連デーを記念し、国連協会京都本部と国立京都国際会館の共催にて、国連と日本これまでとこれからを考える機会とすべく、シンポジウムを開催するものです。

古都京都において、世界の平和と安定のため、平和維持の活動をはじめ、人権の確立、貧困の撲滅、資源・食糧問題、環境保全、難民救済など地球上に山積する問題に対処する唯一の国際機関として総合的な活動をしている国連についての認識を高め、国立京都国際会館を舞台に世界平和を願うメッセージの発信を行うことを目的とします。さらに、世界平和を願って国際舞台での活躍を目指す若者を対象にパネルディスカッションを企画し、一人でも多くの若者が国際人として活躍するきっかけとなることを期待しています。

2015年 10月 25日(日)

会場 | 国立京都国際会館
会議場 Room A

13:00～18:00 (12:30開場)

入場無料(先着300名)



挨拶 13:00-13:10

基調講演
13:10-14:00
(50分)

70周年を迎えた 国連の可能性と限界

関西学院大学副学長
元国連大使(次席常駐代表)
神余 隆博 氏

休憩14:00-14:10

第1部
14:10-16:10
(120分)

パネルディスカッション 日本と国連 -京都から世界平和を願って- コーディネーター 関西学院大学副学長 元国連大使(次席常駐代表) 神余 隆博 氏

休憩16:10-16:20

第2部
16:20-18:00
(100分)

パネルディスカッション 若者へのメッセージ -Think Globally, Act Locally- コーディネーター 国連広報センター所長 根本 かおる 氏

〈基調講演/第1部コーディネーター〉



神余 隆博 (しんよ たかひろ)

関西学院大学副学長 元国連大使(次席常駐代表)

1950年香川県生まれ。大阪大学法学院在学中に外務省公務員採用上級試験に合格。1972年外務省入省。1973年ドイツ・ゲッティンゲン大学に留学。1989年国際連合軍縮課長、1991年国際連合局国連政策課長。1993年大阪大学教授に選出。その後、欧亜局審議官、欧州局審議官を経て2002年デュッセルドルフ総領事。2005年外務省国際社会協力部長。2006年国際連合日本政府代表部特命全権大使、2008年ドイツ連邦共和国駐箚特命全権大使。外交官のかたわら、大阪大学以外にも客員教授として東京大学大学院、立命館大学大学院などで教壇に立ち、国際関係の講義を担当。2012年より現職。

〈第1部パネリスト〉

星野 俊也 (ほしの としや)

大阪大学理事・副学長 元国連日本政府代表部公使参事官

1959年生まれ。上智大学卒業後、東京大学大学院総合文化研究科修士課程(国際関係論専攻)修了。同博士課程単位修得退学。大阪大学より博士号(国際公共政策)。在アメリカ合衆国日本大使館専門調査員、財団法人日本国際問題研究所主任研究員、プリマストン大学客員研究員などを経て1998年大阪大学大学院国際公共政策研究科助教授、2003年同教授、2006年外務省に出向。国際連合日本政府代表部公使参事官、2008年に大阪大学大学院国際公共政策研究科教授に復職、2011年同研究科長、2012年大阪大学総長補佐、2014年同副学長、2015年8月より現職。



中西 寛 (なかにし ひろし)

京都大学公共政策大学院教授

1962年大阪府生まれ。京都大学法学院卒業後、1987年京都大学大学院法学研究科修士課程、1991年同博士後期課程退学。同年京都大学法学院助教授、2002年より現職。この間、1988年～90年シカゴ大学歴史学部博士課程在籍、94年から95年、文部省在外研究員としてロンドン大学政治経済校(LSE)、オーストラリア国立大学に在籍。1992年京都大学大学院法学研究科助教授、2002年同大学法学院助教授、2006年同公共政策大学院教授、2009年同大学法学院研究科教授、2015年現職。



儀間 朝浩 (ぎま ともひろ)

一般社団法人共同通信社外信部部長

1960年沖縄県生まれ。琉球大学を卒業後、84年共同通信社に入社。高知支局、岡山支局、大阪支社勤務を経て本社外信部、94年～95年テヘラン支局長。96年～99年のニューヨーク支局在任中に国連本部を担当、96年12月～97年4月、南米ペルーでの日本大使公人質事件を取材。2002年～03年イスラマバード支局長としてアフガニスタン情勢を取材。2003年3月開戦のイラク戦争で米軍に従軍取材。2003年～2006年カイロ支局長。戦後にテロが相次ぎイラクで米軍当局や国連の活動を取材。外信部次長、担当部長などを経て2014年6月から外信部長。



〈第2部コーディネーター/パネリスト〉

根本 かおる (ねもと かおる)

国連広報センター所長

東京大学法学院卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末までUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネーターを担当。WFP(国連世界食糧計画)広報官、国連UNHCR協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。著書に『日本と出会った難民たち一生抜くチカラ、支えるチカラ』(英治出版)他。



大崎 麻子 (おおさき あさこ)

関西学院大学総合政策学部客員教授、国際NGOプラン・ジャパン理事

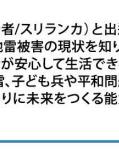
上智大学を卒業後、米国コロンビア大学で国際関係修士号を取得。国連開発計画(UNDP)NY本部開発政策局にて、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進を担当。世界各地で教育、雇用、起業支援、政治参加の促進、紛争・災害復興などの分野で、数多くの女性支援プロジェクトを手がけた。現在は、フリーの国際協力・ジェンダー専門家として、政府関係機関、国際機関、NGO、教育機関等で幅広く活動中。東日本大震災後は、国際協力の経験を活かし、被災地の女性・女の子支援にも従事してきた。サンターモーニング(TBS系)のコメンテーターとしても活躍中。著書に『女の子のための幸福論 もっと輝く、明日からの生き方』(講談社)。



佐藤 文俊 (さとう ふみとし)

株式会社堀場製作所常務取締役 管理本部長

東京大学法学院卒。日本銀行に入行後、英国Hull大学留学、香港駐在員事務所勤務などを経て、青森支店長、業務局参事、福岡支店長を歴任。2004年、株式会社堀場製作所に入社。2005年、常務取締役となり、現在は、人事・総務・広告宣伝・法務を担当する管理本部長のほか、経理、広報、IR(投資家向け広報)を管掌。東京支店長も兼務。



鬼丸 昌也 (おにまる まさや)

認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事・創設者

1979年福岡県生まれ。立命館大学法学院卒。高校在学中にアリヤラトネ博士(サルボダヤ運動創始者/スリランカ)と出逢い、「すべての人に未来をつくり出す能力がある」と教えられる。2001年、初めてカンボジアを訪れ、地雷被害の現状を知り、「すべての活動はまず『伝える』ことから」と講演活動を始める。同年10月、大学在学中に「全ての生命が安心して生活できる社会の実現」をめざす「テラ・ルネッサンス」設立。2002年、(社)日本青年会議所人間力大賞受賞。地雷、子ども兵や平和問題を伝える講演活動は、学校、企業、行政など年100回以上。遠い国の話を身近に感じさせ、一人ひとりに未来をつくる能力があると訴えかける講演に共感が広がっている。



〈参加申込書〉

ふりがな
氏名

所属

TEL

FAX

(〒 -)

住所

お問い合わせ先
国際連合協会京都本部

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル少将町229-2 第7長谷ビル8階

TEL: 075-211-3911 FAX: 075-211-3944

<http://unakyoto.ec-net.jp.wordpress/>

◆ E-mailによるお申込み

件名に「国連創設70周年記念シンポジウム申込」、本文に住所、氏名、所属、連絡先電話番号を明記し

un70@unakyoto.ec-net.jp宛へ送信してください。折り返し返信メールが届きます。携帯メールアドレスでお申込みの方は、PCからのメール、ドメイン [unakyoto.ec-net.jp] を受信可能な設定でお申込みください。

◆ FAXによるお申込み

「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、**075(211)3944**宛へ送信してください。受信通知、聴講券の発送はいたしません。当日受付でお申し出ください。

お申込みが定員に達した場合には
ホームページ上でお知らせします。

会場周辺図



※ご記入いただきました個人情報は厳重に管理し、当イベント以外の目的には使用いたしません。